



広報

No.250

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

平成4年10月末現在

世帯数	8,196戸
人口	26,814人
男	13,714人
女	13,100人

10月の人口移動

出生	41件	死亡	6件
転入	94件	転出	83件
婚姻	19件	離婚	1件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

レベルの高さに感嘆

町内の小学生から一般、家庭婦人を網羅した第2回町バレーボール祭(主催・町、町教育委員会)が11月8日、町民体育館で開かれました。

本町は小学生・中学生・高校生をはじめ一般、家庭婦人にいたるまでバレーボール競技が盛んな町です。そこで今後とも普及発展させることと、愛好者の親睦を図ることが目的に行われました。

各団体と男女別にチーム編成し27チーム(約200人)が日ごろの練習の成果とレベルの高さを披露しました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

一クの形成を

「女性自身の意識の変革はもちろん、男性の女性に対する意識変革がないと男女共同参画型社会は実現できない」「女と男は相補完しあえる関係で」「家庭・地域・職場の環境整備の推進」「女性ネットワークの形成を」など、女性が社会参加するためには男性の理解と家庭参加が必要だと強調しにされました。

調する女性たち。「女と男がいさいと輝く社会をめざして」をテーマに十一月七日午後一時、町中央公民館で女性サミット(主催・西原町)が開催されました。発表した七人の女性から様々な意見が出され、女性が社会参加するためにはなお時間がかかることが浮き彫りにされました。



であることを確認しました(円内は平安町長)

男女の意識の変革から 男と対立するのではなく 相補完する関係で 女性サミットを開催



7人のパネラーがそれぞれ意見発表しました

本町は、九月九日「町女性行動計画」を策定しました。そこで、町民一人ひとりが行動計画の意義を理解し女性の地位向上や二十一世紀に向けた男女共同参加社会形成の契機となることを目的に今回、「女性サミット」が開かれました。

女性サミットでは、町婦人連合会のオープニング(民踊)に始まり、與那嶺浩町教育委員長長の開会のあいさつ、平安恒政町長の主催者あいさつが行われ、その後、尚弘子沖縄県副知事、赤嶺千壽沖縄県婦人連合会長、城間光雄町議会議長がそれぞれ来賓あいさつ。その後「これからの女性に求められるもの」をテーマに、津田塾大学教授・金城清子さんの記念講演が行われました。



津田塾大学教授
金城 清子さん

自信と確信をもって

金城清子さんは講演の中で「これからの女性は①自信と確信を持つて発言を②豊かにくらしの創造の原点として地域社会、地場産業を大切に③目標を掲げて行動しよう」と町の意識生活実態調査結果を引用しながら体系的に説明し、参加者

約七百人の注目を集めました。

様々な視点から意見発表

女性七人の意見発表では、限られた時間内にそれぞれがこれまでの体験や活動を通しての意見や感想、問題提起がなされました。

以下、意見発表(要旨)を紹介します。



南部地区代表
志村 政子さん

同性のやっかみがつらかった

「佐敷町では初の女性課長」男性優位の社会は徐々によくなったが、まだまだである。女性自身が積極的に社会参加すべき。家族の理解が必要。同性である女性が足を引っぱっている。



北部地区代表
山内 晴子さん

やる気があれば女性もできる

「四十二年間の教員生活(校長職を含む)を昨年退職」女性もやる気を出して一生懸命やればできる。サミットを開くことは、まだ差別がある証

「夜あそびは 子供が悪い芽を出す はじまりだ」西原小6年 狩俣由香子

女性ネットワ

女性サミット共同宣言(要旨)

私たち女性サミット出席者一同は、本日提起された課題と現状を踏まえ、二十一世紀に向かって①真の男女平等を推進し、相互理解を深めるために男性の意識変革と同時に女性自身の意識の変革を促進していくこと②あらゆる分野への女性の登用を図り、真に男女が相補完しあえる社会を築いていくこと③女性自らを

高めるために、チャレンジ精神を高揚させ自己啓発のための学習機会を広げていくこと④女性が社会に参加するために家庭・地域・職場の環境整備を推進していくこと⑤地域へ関心を向け、性別、年齢を越えた豊かな男女共同参画型社会を築いていくこと⑥自立する女性のための専業従事者(家庭内労働者)への支援及び地

〈染色家、スタッフが七十人〉



八重山地区代表
高嶺 幸子さん

自己管理のできる女性に

拠である。法律や制度を男女ともに勉強すべき。ネットワークづくりが必要。



約700人が詰めかけ、ねばり強い取り組みが必要

財産の登記名義は、半分を女性にしたかどうか。自己管理のできる女性に。男性の理解があれば女性もよい仕事ができる。家事労働者への支援と地場産業の育成を。



宮古地区代表
狩俣 康子さん

域産業の振興育成を図ること⑦二十一世紀に向けて豊かな自然環境を守り創造していくこと⑧人類の幸福と繁栄は平和が前提であり、今後世界の女性たちと連帯し平和交流の輪を広げること⑨女性自身が相互に支え合い、助け合い女性ネットワークを形成していくこと⑩を高らかに宣言する。

一九九二年十一月七日
女性サミット出席者

女性問題は男性側の問題

〈民俗音楽家〉

女性問題は、むしろ男性側の問題である。女性の立場(弱者の立場)は周囲が理解を示すべき。女性はどうどん意見を言うべき。教育の機会均等を図るべき(先島の情報・通信の格差是正)。



中部地区代表
島袋 タケさん

夫の理解があるから

〈現在、石川市役所総務課長〉
自分が男と同じように仕事をやるのは夫の理解があるから。生涯教育の観点からも学習する女性には行政もバックアップを。女性の管理職登用を図りたい。



那覇地区代表
与那嶺良子さん

きめ細かきでは女性が優る

〈浦添ニュータウン自治会長〉
女性自身の意識の変革が必要。女性の敵はむしろ女性である。きめ細かな点ではむしろ女性の方が優れている。

身近にたくさんさんの差別要因が



西原町代表
儀間 信子さん

〈初の女性議員〉
身近にたくさんさんの差別要因がある(学校での名前順や家庭・地域・職場における固定的役割分担など)。男性の女性に対する理解と協力が大切。男女間は相補完しあう関係でありたい。



パネラー発表後、4人の助言者から感想や指導のことばがありました

パネリスト発表後、四人の助言者(原喜美・沖縄キリスト教短期大学長、安里和子・県女性政策室長、幸喜徳子・沖縄石油ガス(株)常務取締役、平安恒政町長)から指導・助言が行われた後、七人のパネリストが共同宣言を行いました。

「夜遊びは 非行の道への 第一歩」西原中2年 島袋 潤

恒久平和の誓いを新たに

しめやかに町戦没者追悼式



式辞を読み上げる平安恒政町長

平成四年西原町戦没者追悼式が、十月三十日午後、本町字翁長の西原の塔で町主催によりしめやかに挙行されました。

追悼式では、小川良夫助役の開式のことばに始まり、参列者全員が一分間の黙とう。その後、平安恒政町長が式辞、翁長正昌町遺族会会長が追悼のことば、川村茂三郎昔陽会会長が弔辞、城間光雄議会議長が来賓のあいさつをそれぞれ行いました。その後、各種団体代表による献花や全参列

者の一般焼香などが行われ、参加者約四百人が戦没者のご冥福と恒久平和を誓いました。平安町長は式辞の中で「戦場で尊い命を捧げられたことに万感胸にせまる思いである。

また、今日の発展は諸霊の尊い犠牲と御加護のお蔭であることから町と致しましては、今後とも反戦平和を自治の原点として推進したい」と述べました。

また、同地には歩兵第八十九連隊(元山部隊)の顕彰碑や昔陽会(元石部隊)の外地道戦没者碑などが建立されていることから、今年も本土から多くの人が参加しました。

これまでの伝統を更に発展 盛大に創立五周年祝う

西原東中学校(瑞慶覧進校長)創立五周年記念式典が、十一月九日午後二時から同校体育館で開かれました。

全校生徒(六百二十二人)や学校職員、PTA会員、関係団体職員、来賓ら約八百人が参加し、創立五周年の節目を祝いました。

記念式典では、金城秀昌期成会副会長の開会のことばに始まり、屋良恵子期成会副会長の経過報告、赤嶺秀政期成会会長が式辞、瑞慶覧進学校長らがあいさつ。その後、功労者五人に対し感謝状が手渡されました。

「本校は、昭和六十三年四月、西原中学校の過密を解消するため分離新設された。以来、スポーツ面や文化面に優れ、特にバレーボールは県内外に名声を博している。今後とも他校のよさを学び独自の校風を創りたい」と述べました。



5人に対し感謝状が手渡されました

「本校は、昭和六十三年四月、西原中学校の過密を解消するため分離新設された。以来、スポーツ面や文化面に優れ、特にバレーボールは県内外に名声を博している。今後とも他校のよさを学び独自の校風を創りたい」と述べました。

「と喜びを表しました。その後、「青い目が見たウチナー」をテーマにラブ・オーシユリさんによる講演が行われました。

なお、感謝状受賞者は次の通り。(敬称略)

▽歴代校長・城間期一、具志堅源三▽歴代教頭・大城永善
渡口宏▽歴代PTA会長・座波進



日ごろの活動成果を展示・発表

町教育委員会主催、平成4年度「公民館まつり」が10月24日～25日までの2日間、町中央公民館で行われ、公民館利用サークルなどが日ごろの活動成果を展示・発表し、参観者の目を楽しませてくれました。

展示部門は2日間に亘り59人が出展し、舞台では11サークル総勢220人が発表しました。

なお、発表したサークルは次の通り。

▷舞台発表・子どもさんしん、琉舞みやらび、町レディースフォークダンスクラブ、町少年少女合唱団、読書サークルひまわり、子ども会民謡サークル、子ども琉舞、ヨガサークル水踊会、歌声サークル、西原フォークダンスサークル▷展示部門・ペン・書道サークル、生け花サークル(桔梗Ⅰ、桔梗Ⅱ、チューリップ)、茶道サークル、手芸サークルわかば



あいえ～ぬちぐすいやさ

町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)の創立20周年記念誌発刊資金造成演芸の集いが11月1日午後、町中央公民館で開催され、約800人の観衆を魅了しました。

日ごろのレクリエーション活動の成果を発表しようと、民謡レクサークル、町子ども会サークル、琉球舞踊同好会、琉球古典音楽愛好会など出演者が総勢約200人。かぎやで風や伊計離節、繁昌節など20演目以上。前川守賢さんの名司会により開演と同時に手拍子が飛びかいました。また、早くから詰めかけた観衆で会場は最後まで超満員でした。



都市計画の変更を答申

町都市計画審議会(平敷静男会長)が11月10日午後、議会委員会室で行われ、平安恒政町長から平敷会長に対し都市計画の変更について諮問が行われました。

諮問がされたのは、①那覇広域都市計画区域に係る市街化区域及び市街化調整区域に関する都市計画の変更について②那覇広域都市計画用途地域の変更について。委員10人が早速審議・検討し原案どおり答申されました。

なお、変更の内容は次の通り。

①坂田のプリマート裏側一帯を市街化区域編入に係る特定保留地区とする。(土地区画整理事業の計画が熟した段階で市街化区域に編入する)②上原公民館近くの県道交差点周辺を第2種住居専用地域から近隣商業地域へ変更。オキコ前及び幸地上安次座の県道29号沿線を第2種住居専用地域から住居地域へ変更。



6人が中頭地区大会へ

町PTA連絡協議会(新川雅權会長)主催、第13回西原町意見発表大会(11月4日、西原東中学校体育館)及び童話・お話大会(11月7日、西原小学校体育館)がそれぞれ行われ最優秀賞6人が決まり、中頭地区大会(11月21日)に派遣されることになりました。

表現力の養成に努め、情操の陶冶と言語教育の発展に資するために開催され、町立各学校代表らが元気いっぱいがんばりました。

なお、最優秀賞に選ばれた方は次の通り。(敬称略)

▷低学年の部・ぎぶまみこ(西原南小1年)、さくがわこうや(坂田小1年)▷高学年の部・玉城春菜(西原東小6年)渡慶次司(西原東小5年)▷中学の部・國場絵梨子(西原東中1年)、崎原康平(西原東中1年)



囲碁愛好者が熱戦

第1回町チャリティー囲碁大会(小川良夫実行委員長)が10月25日・町社会福祉センターで開かれ町内に住む約50人の囲碁愛好者が腕を競いました。

日ごろから囲碁の好きな人たち(4級から6段まで)が集まり、A組からD組にクラスを分け総当りで対戦。参加者の中には、「今度の企画を待ち望んでいた。できれば毎年やってほしい」との声もありました。



新垣良吉さんが県知事賞に

平成4年10月17日、糸満市で開催されました沖縄都市緑化祭(主催・沖縄総合事務局、沖縄県、糸満市)において、字我謝95番地の新垣良吉さんが入選を果たしました。

これは、都市緑化の普及と啓発に広く貢献し、すぐれた緑化事例(壁面緑化)として認められたもの。また、都市緑化の推進及び都市公園の保全美化に対する功労団体として桃原自治会・与那城自治会・内間自治会が県知事表彰を受けました。おめでとうございます。



外間先生の技に魅せられ

沖縄人は親切で心の支えになる。沖縄に来てとてもうれしいですと、11月4日午前、剛柔流拳志会外間空手道場(代表者外間哲弘、字与那城277-33)を尋ねてフィンランドから2人が来訪しました。

訪問者はシモン・サーリッコさん(29才、空手歴15年)とペトリ・ヒコウショウネンさん(27才、空手歴14年)。体と精神を鍛えるために空手を始めたと話す2人は、1カ月の滞在中に第2回町文化祭空手部門や首里城公園開園記念・首里城祭アトラクションに出場する予定。



二自治会が建設大臣から表彰

平成4年度「都市緑化月間」にあたり、10月29日東京都で開催された都市緑化・都市公園整備推進全国大会で本町の幸地自治会(外間栄徳会長)と棚原自治会(宮城秀功会長)が建設大臣から表彰されました。11月2日、役場会議室で平安恒政町長から両自治会長に対し、賞状が手渡されました。

両自治会は、都市緑化の推進及び都市公園等の保全美化に顕著な功績があった団体として認められました。おめでとうございます。



じどうかんまつり終わる

楽しいあそびがいっぱいの『じどうかんまつり』が10月29日から31日までの3日間、西原児童館で開かれ子どもたちの黄色い声が館内に響きました。

初日の29日は、コーナーあそび(おやつコーナーや工作コーナーなど)、30日は映写会(アルプスの少女ハイジやベンとエイムスなど)31日は琉球大学の学生らによる公演会(エプロンシアターや紙芝居など)が行われ、子どもたちは喜んでいました。



運動会がめじろおし

「よい、ドン」の合図に隣の子の様子を伺い、一緒に走り出す。町内の保育所(園)(坂田保育所、西原白百合保育園、愛知保育園、小川保育園)では、10月17日一斉に運動会が行われ親子の微笑ましい光景が見られました。

我が子の熱心な演技に涙する父母らや思い出を残そうとビデオやカメラを撮る人など、各会場とも朝早くからにぎわいました。



薬草を生活の中で活用

薬草に対する正しい知識を学び身近にある薬草を使って健康管理を図ろう＝と平成4年度「薬草教室」が10月12日から平成5年1月21日まで(12回コース)開かれています。

町民を対象に週1回約2時間程度で毎週月・木曜日の2グループ計60人が受講。町国民健康保険課が主管し、今年で5回目。成人病やアレルギー体質、ガン予防にも効果的であることから参加者は土づくりから真剣顔でした。



太鼓購入助成に40万円

町(平安恒政町長)は、10月19日午前、町長室で県営西原団地自治会(向山ミサ子会長)に対し、子ども育成補助金として40万円を手渡しました。

同自治会内の子ども育成会(南賢一育成会長)は、2年前から子ども会に対し「太鼓」を指導。今では30人の「ひまわり祭太鼓」として本町内外での交流やアトラクションに出演し活躍しています。町は今後の活動に期待し太鼓購入の助成をしたものの。



好評のやまびこ学級

心の豊かさを求め学習し、日々の生活に役立てよう＝と平成4年度やまびこ学級が10月14日から12月2日まで町中央公民館で開かれ好評を博しています。

町内に住む婦人を対象に開講(8回)を予定。3回目の10月28日は『大河ドラマに見る琉球国「琉球の風」を興味深く観る為に』と題し県立博物館学芸員、萩尾俊章さんが講話。学級生約110人が開園間近の首里城平面図を見ながら歴史をふり返っていました。



西原中が学習発表会

西原中学校(喜納徳次校長)では学習発表会を11月1日同学校内で開き、作品や演技に父母らが拍手と激励を送りました。

舞台の部では創作ダンスや独唱、演奏を同校体育館で発表。特に創作ダンスは、各学級から選ばれた優秀な生徒らが班毎にテーマを設定し限られた時間内に体で表現しました。また、展示の部では、日ごろの学習状況(新聞、作文、習字、ノートなど)を各教室内に展示。激励に駆けつけた父母らが真剣に鑑賞していました。



交通安全を願い、立て看板掲示

飲酒運転はしない スピードは控えめに 車線を守ろう＝と町交通安全母の会(下地郁子会長)は立て看板に交通安全の標語書きの作業をすすめていたがこのほど終り、10月22日午前、仕上がった立て看板32本を町内の目立つ箇所に掲示しました。

掲示場所は、町内の小・中学校周辺や国道・県道などが中心。先日県が交通死亡事故非常事態宣言を出したことから、事態を憂慮し同母の会が独自で取り組みました。



琉大職員チームが優勝

町ソフトボール同好会(中山精憲会長)主催、第7回町職域ソフトボール大会が10月18日・25日の2日間、西原中学校グラウンドで開かれました。

16チームがトーナメント方式で競技。和やかな雰囲気の中にもきびきびした行動が印象的でした。

なお、試合結果は次の通り。
▷優勝・琉大職員ソフト同好会
▷準優勝・ヤマシロ工業 ▷3位・
(有)宮平プロパン、(株)沖縄銀行

おめでとうございます。

演目一つひとつにため息と拍手

地域文化を継承し発表

町地域伝統芸能祭「ゆがふ遊び」が十月二十四日午後、町中央公民館で開かれ、早くから詰めかけた町民らが「芸術の秋」を満喫しました。

これは、本町文化事業の一ダイベントであり、町民一人ひとりが自分達の住んでいる

地域を理解し郷土の新しい地域文化を創造するとともに町民の文化意識の高揚を図るためのもの。演目は小那覇、小波津、小橋川、内間の獅子舞をはじめ内間の歌劇「嘉手久の縁」、小波津の組踊り「父子忠臣」。これらは各々の地域の人々の生活の中に根ざし、引き継がれてきた貴重な文化遺産です。特に、小波津の組踊り「父子忠臣」は、十六年振りに小波津部落が総力を上げて取り組み、約六か月前から練習を重ねた力作。

会場は、あふれんばかりの超満員となり、演目一つひとつに感嘆と大きな拍手が送られました。



シリーズ

がんばってます⑱

心と体を鍛えて立派な社会人に

「バレーボールだけでなく、勉強も頑張って両立させてほしい。スポーツで心と体を鍛えることによって将来、社会に出て立派にやり遂げる人間づくりを目指します」と語るのは、西原東小学校男子バレークラブ(西原東クラブ)を指導する字我謝八番地の七十八、大城盛安先生(教諭・43才)です。

本町が小学校から高校・青年・婦人に至るまでバレーボールの盛んな町として名を高めているのは、熱心な指導者のお陰と言えるでしょう。大城先生もその一人です。西原小学校へ赴任当時、父母とのパイプ役として顧問を引き受



大城先生の合図に集まった西原東クラブのメンバー(円内が大城盛安先生)

けたのをきっかけに、バレーボールを指導して八年。現在の西原東小学校では三年目。

「一分でも多く子どもたちと過ごしたいし、練習も始めから終りまで見たい」と話す大城先生は、教務主任や学推協の仕事が重なった時、時間のやりくりで苦慮したことも。ボランティアで指導するやさしい目の裏には責任感と情熱が輝いていました。大城先生、これからもがんばって下さい。

昨年、第一に子どもたちの安全面、次に健康や食事をきちんととるなどの体づくりの面、帰ったら勉強を忘れない

などの声かけを徹底しているため、子どもたちからも親しまれています。



いきいき生花サークルのみなさん

心が落ち着き 素直な心に 生花サークル桔梗Ⅰ・Ⅱ

ちよつと

拝見コーナー

季節の花や木を使い、その素材を生かしながら創造的に伸びやかに生けていく。しかも自然の動的な生命感を捉えるため、美しい比例と均衡を保ちながら……。

☆ ☆
今回は町中央公民館でサ―

クル活動をしている小原流『生花サークル桔梗Ⅰ・Ⅱ』を訪ねてみました。町中央公民館で生花講座を受け、修了した人たちが昭和五十六年四月にサークルを結成以来、継続して約十一年。毎週水曜日午後一時半から三時半までの

二時間（桔梗Ⅱは毎週金曜日午後八時から十時まで）活動しています。会費は材料費も含めて月に五千二百円。会費は桔梗Ⅰが十四人、桔梗Ⅱが二十一人。仲本翠豊先生（豊見城村在）が個人指導をするので、初心者も大歓迎です。会員の玉那覇光子さん（字嘉手苅三十二番地の七）は、「花を生けていると日々の忙しさを忘れて心が落ち着く。会員が仲むつまじくにぎやか

に触れ合うので長く続けられたと思う」と話していました。さんご水木やカーネーション、シャガーなどを使い、会員それぞれが一本ずつ表現し生ける。その後、先生が各会員へアドバイスをする。心を清め素直な気持ちで花に向かう。一本一本でいいいに生け終るとステキな笑顔が……。サークルに入会したい方は直接会場におこし下さい。
町中央公民館 ☎ 九四五一・三六五七

去った十一月七日に、町中央公民館で開催された女性サミットは、テーマ「女と男がいきいきと輝く社会をめざして」を掲げて大盛況に終わることができました。各人には感激の渦を巻きおこされた事でしょう。

「女性の地位向上」を図り、「男女共同参加社会」の確立をめざした「女性行動計画」の策定後、県内の先駆をきつてスタートした女性サミットは、最も西原町のイメージにピッタシの趣旨で、男女共同

参加の新思考を凝らしたものと見えるでしょう。
今後、ボーダレス社会に向けて、各地域の女性たちが力

いさつのなかに「男性、女性の議論の前に、まず、人間であること、つまり、相手に対する人間的な優しさ、思いや

女性サミットに参加して

エブロン通信員 喜名京子

と知恵を出し合い、あらゆる問題点や課題を解決されるように期待したいものです。
ところで、町長さんのおあ

り、いたわりの心で向き合うことが最も大切である」とお話しがありました。私は町長さんのそのお話を聞いて大

変感動しました。また、各地域の女性が集い、和やかな交流が持たれた事は私たち女性がさらに深い関心をもつて学ぶことができたと思います。

私は、女性の地位向上や社会参加が地域社会の豊かなくらしと平和の創造につながり、ひいては世界の人々との連帯と交流を深め、世界平和に貢献していくことと確信しております。同時に女性の特質であるナイーブさを活かし、まだまだ巷に残る問題点にキチッと視点をあててとりくんでいく事が大切です。

12月5日、6日に産業展示会

「平成4年度産業展示会」が、町（平安恒政町長）主催、町農業協同組合、町普及事業連絡協議会、町文化協会花き園芸部会後援により、12月5日(土)、6日(日)の両日、西原町民体育館で開催されます。

これは、本町で生産される農産物、花き、果樹、農産加工品、手工芸等を一堂に展示、広く町民に公開、賞賛激励し、農家の生産意欲の高揚を図り、地域農業の発展と振興に資することが目的。

展示会では、試食コーナー、野菜等の即売、苗木の無料配布など多彩なコーナーが設置される予定。

町民の積極的な参加で、本町の産業についての理解を深める機会になることを期待します。

※ 詳しいことについては、町産業課まで問い合わせ下さい。

町産業課 ☎945-4540



お知らせ
でーびる



案内・募集

沖縄県子ども・家庭110番



電話相談専用ダイヤル

☎(098) 886-8800

子どものしあわせ守りたい



沖縄県生活福祉部

沖縄県中央児童相談所

〒903 那覇市首里石嶺町4-394

☎(098)886-2900

沖縄県老人福祉医療助成金についてのお知らせ!!

今年度より県では在宅の寝たきり老人に対し、保険外負担となっているオムツ代の助成として、老人福祉医療助成金を支給致します。

※対象者

満65歳以上の者で、在宅（病院及び老人保健施設を含む。）において1日の大半を臥床し、排泄にオムツの使用が必要と認められる状態が6箇月以上継続していると認められる者。

ただし、下記の方は該当しません。

- (1) 保険外負担がない施設等（特別養護老人ホーム等）に入所中の寝たきり老人
- (2) 年間所得が国民年金等障害基礎年金1級相当額（平成4年度は906,600円）を超える寝たきり老人
- (3) 県内の市町村に住民登録して6箇月に満たない寝たきり老人

※助成金の額は月額7,500円。

※助成金の支払いは、3月及び10月の年2回とし、それぞれ前月までの分を3月及び10月の末日までに口座振込により支払う。

※申請お問合せは

西原町役場 福祉課 (☎945-5311)

※町役場の電話番号が一部変更になりました

(各課及び施設等の電話番号は次のとおりです)

課 名 等	代表番号
総務課・選挙管理委員会	945-5011
住 民 課 ・ 出 納	945-5012
保 健 衛 生 課	945-5013
企 画 課	945-4533
税務課・国民健康保険課	945-4729
福 祉 課	945-5311
産 業 課 ・ 農 業 委 員 会	945-4540
土木課・都計課・東部海浜開発室	945-4415
水 道 課	945-4934
議 会 事 務 局	945-5005
教 育 委 員 会	945-3655
教 育 相 談 室	945-3656
学校給食共同調理場	945-4935 946-9621
中 央 公 民 館	945-3657 946-6657
町 民 体 育 館	945-8095 945-8096
西 原 保 育 所	945-2567
坂 田 保 育 所	945-5306
西 原 児 童 館	945-4393
FAX(総務課)	946-6086
〃(水道課)	946-4805

～生徒募集～

国立沖縄海員学校の平成5年度本科生の募集を次のとおり行います。

1. 募集人員 本科(修業年限3カ年) 約40名。
2. 受験資格
 - (1) 年 令 平成5年4月1日現在で、満15歳以上満19歳未満の者。
 - (2) 学 歴 中学校卒業以上の者。(平成5年3月中学校卒業見込みの者を含む。)
3. 願書受付 平成5年1月9日(土)から
期 間 平成5年2月3日(水)まで。
4. 入学試験
 - (1) 期 日 平成5年2月7日(日)午前9時開始。
 - (2) 試 験 国語・数学・英語 各課目50分。
5. 受験地

科 目 (中学校卒業程度)

◇沖 縄 県: 那覇市・石川市・名護市・平良市・石垣市

◇鹿児島県: 名瀬市

※詳しくは、本校教務課に問い合わせ下さい。

〒904-11 沖縄県石川市字赤道20番地
電 話 098(964)2595
3595
F A X 098(964)3440

第2回西原町民新春かきぞめ大会 参 加 募 集

主旨 古代より新年の願いを筆に託する
伝統文化を継承する。

募集要項

主催: 西原町文化協会書道部会
後援: 西原町、西原町教育委員会
日時: 平成5年1月3日(日)

午前10時～12時

(児童生徒～中学生)

午後2時～4時

(高校生～成人)

会場: 西原町民体育館

会費: 200円(紙代を含む)

但し成人は無料、道具は各自持参。

課題: 自由、但し児童生徒は学校宿題

申込み: 当日会場にて受付(9時より)

☆問い合わせは

文化協会書道部 946-4192

▽字兼久十七番地、平良ヒデさんが、故夫勇さんの香典返しとして町社協へ十万円。

▽字幸地九百八十一番地一棟百四号、糸嶺篤誠さんが、母マカトさんのカジマヤーを記念して町社協へ三万円。

▽町囲碁同好会が第一回町チヤリティー囲碁大会(小川良夫実行委員長)の収益金の一部を町社協へ八万円。

▽字池田七十七番地、比屋根和徳さんが、故父定知さんの

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

香典返しとして町社協へ十万円。

▽字小橋川一番地の五、町商工会(呉屋定子会長)が、チヤリティーゴルフの収益金の一部を町社協へ二十万円。

▽字小波津七十七番地、少林流空手古武道修道館・伊佐海舟館長が、チヤリティー公演「武と舞」の収益金を町人材育成会へ十万円、町身体障害者協会へ十万円、町心身障害児者を育てる会へ十万円。

人事異動

平成四年十月十六日付、町職員の人事異動があり、昇任及び新規採用職員が決まりました。

なお、異動者は次の通り。

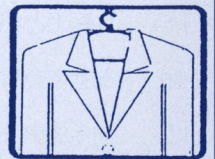
▽出納室、出納係長(昇任) 泉川マサ子、前税務課▽税務課、主事補、山城宏達(新規採用)

Sマーク店なら安心

Standard〈標準〉

Sanitation〈衛生〉

Safety〈安全〉



クリーニング店



美容店



理容店



厚生大臣認可
標準営業約款Sマーク

わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう。(町民憲章)

12月(DEC.) 行事・祭事予定

- 1日(火) ○ツ反 9:30 町中央公民館
- 2日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター(9日、16日、22日)
- 3日(木) ○クリスマス望年会(精神保健)
○BCG 9:30 町中央公民館
- 4日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里(18日)
- 5日(土) ○映写会 14:00 児童館
○第4回健康まつり・産業展示会(6日まで) 14:00 町民体育館
○秋の叙勲、褒章受章祝賀会 18:00 町中央公民館
- 11日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館(25日)
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 12日(土) ○町役場閉庁
○クリスマス会 14:00 児童館
- 16日(水) ○ムービーづくり 14:00 児童館
- 17日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 19日(土) ○DPT 13:00 町中央公民館
- 20日(日) ○乳児一般健診 9:00、13:00 町中央公民館
- 24日(木) ○大そうじ 10:00 児童館(25日)
- 26日(土) ○町役場閉庁
○ビデオ会 14:00 児童館
- 28日(月) ○御用納め

1月(JAN.)

- 4日(月) ○御用始め
○年始会 16:00 町中央公民館
○お正月あそび 14:00 児童館(6日まで)
- 6日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 8日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里
- 9日(土) ○町役場閉庁

※都合により日程変更することがあります。



町人材育成会から助成金が交付された

第4回健康まつり・産業展示会(12月5日～12月6日、町民体育館)



字翁長 315-番地
金城 ツルさん

こんにちは
“ひとこと” ⑬

健康できれいい好き

坂田区の最高齢者である金城ツルさんは92才。糊づけをされた手製の着物に身をまとい、いつもきれいにしているのが好きなかわいいおばあさんです。朝は八時ごろから竹ぼうきを持って家の周辺を掃除。庭の水かけや区内の散歩など日々の日課をかかさないと。タンスの整理(夏物と冬物の入れかえ)をしながら金城さんは「食事は毎日三回きちんととっています」と健康の秘訣を話していました。



町郵便局(岸本誠吉局長)
主催・第3回町ゲートボール

我謝Aチームが優勝

一打一打を真剣に...

大会が、11月8日西原小学校グラウンドで開催されました。これは、ゲートボールを通して地域間の交流と親睦を深め、更に健康増進に役立てるほか、明るい豊かな地域社会の形成に寄与することが目的。参加チームは各字単位に30チーム。朝早くから熱戦が展開されました。なお、結果は次の通り。

▽優勝・我謝Aチーム▽準優勝・翁長チーム▽第3位・兼久Aチーム、上原Bチーム

3人をシンガポールへ派遣

町商工会(呉屋定子会長)では沖縄県商工会婦人部連合会設立15周年記念、海外視察研修へ派遣するため人選をすすめていたがこのほど3人が決まりました。派遣される3人に対し町人材育成会(平安恒政会長)から11月6日、町長室で助成金が交付されました。

派遣が決まったのは、岸本初子さん、長崎信子さん、我謝豊子さん。研修期間は11月11日から11月14日まで(3泊4日)。訪問国はシンガポールを予定。